



1/昨年のイグルーからバージョンアップしたアイスキャッスルで記念撮影 2/雪の中に埋められたお宝を必死に探す子供たち 3/氷筍が作り出す幻想的な空間にみんな目を奪われます 4/スノーモービルに引っ張られ大はしゃぎの子ども 5/まつりを締めくくる花火大会。澄み切った夜空に色とりどりの光を照らします

## 山形の冬を彩る

### 「二大イベント」

2月10日に山形町の冬を彩る平庭高原スキー場まつりが開催し約2500人が来場しました。夢風船の打ち上げを皮切りに、スノーパークゴルフや雪中での宝さがし大会などスキー場ならではのイベントで会場は大盛況。今年新たに実施されたダブルケッツすべり選手権大会では、親子や友達2人で雪上を滑り降りる速さを競い合い、中にはあまりの速さに飛び上がってしまうペアもありました。夜には、恒例の花火大会が行われ、澄み切った雪原の夜空に大輪の花が咲き乱れました。

翌11日には、山形町小国地区の内間木洞で「氷筍観察会」が開催。今年は気温が急激に下がったため、水滴が洞窟の天井で凍ってしまい、つららが多い状況でしたが、観察会でしか見ることのできない幻想的な空間を一目見ようと約500人が入洞しました。周辺では地元自治会により田楽や川魚などが販売され、来場者は山形の郷土食に舌鼓を打ちました。



右上/三上乃愛さんの作品 右下/梶谷日向詩さんの作品 左/さんてつくんを囲んで記念撮影する侍浜保育園の園児たち



### 三陸鉄道「園児お給かき遠足列車」

2月19日に侍浜保育園、23日に久慈湊保育園で三陸鉄道「園児お給かき遠足列車」の表彰式が行われました。市内では侍浜保育園の三上乃愛さんが久慈市特別賞、久慈湊保育園の梶谷日向詩さんが久慈市さんてつくん賞を受賞。19日の表彰式では遠藤市長や三陸鉄道北リアス線運行部の大在家部長、マスコットの「さんてつくん」から受賞者に賞状や記念品が贈呈。久慈市特別賞を受賞した三上乃愛さんは「賞をとることができてうれしいです」と喜びの感想を話しました。

### わがやのアイドル

下向みのりさん (6歳)  
 下向久仁子さんの孫 (侍浜町)



未就学の子ども、もしくはペットの写真を募集しています。写真に必要事項(氏名、年齢、性別、住所、申込者との続柄)を添えて、久慈市役所「広報くじ担当」まで郵送、または直接お持ちください。写真は掲載後にお返しします。